

学位論文内容の要旨

		要 旨
学位申請者	高木（西田） かおり 【生活工学共同専攻 平成28年度生】	
論文題目	雨水の家庭用水利用の有効性と住民の受容性	<p>本論文は、雨水の家庭用水利用について水量および水質の観点からその可能性を評価し、さらに住民の受容性の状況と影響因子について検討したものである。具体的には以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水の家庭用水への利用において用途別に必要水質を文献調査および現地調査から収集し、雨水水質の文献値と比較しつつ、利用可能用途を明確に示した。
審査委員	(主査) 教授 大瀧 雅寛	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水利用の量的な評価は、従来、降水量と平均屋根面積から供給量推定を行い、需要量の平均値と比較して行っていたが、本論文では用途別の需要量分布や屋根面積分布を利用して確率論的評価を新規に提案した。この評価方法により従来より格段に現実的で情報量の多い評価法を提案することができた。 ・ 雨水利用の可能性が高いと考えられるスリランカ南部の Galle 県において住民に聞き取り調査を行い、雨水利用の受容性の分析を行った。また量および質的な情報提供による受容性の変容について詳細な分析を行い、変容を促す因子の抽出を行った。 ・ スリランカ南部 Galle 県において一軒の家庭ではあるが、雨水利用システムを実際に設置し、その利用状況および住民の意識調査を通して、利用可能性の検証した。 <p>以上の研究は単に独自の理論的検討を進めただけでなく社会科学的な要素として住民の雨水に関する意識調査を加えている点で実面的な面も備えた研究論文であると評価される。</p> <p>なお本論文の内容の一部は既に審査付英文学術誌 (Water 誌) に一報(査読済み, 公開済み)が発表されており, また国際会議にて 1 件の口頭発表, 国内会議にて 1 件の口頭発表がなされ, 研究成果が国内外において評価されている。</p>
	教授 吉田 哲也 (奈良女子大学)	
	教授 太田 裕治	
	准教授 長澤 夏子	
	助教 中久保 豊彦	